

挨拶

広島大学経済学部教授

地域経済研究センター長 戸 田 常 一



本日と明日にかけて、第10回の研究集会を開催しますが、主催者の一人として一言ご挨拶を申し上げます。日々の新聞に見られますように、世界経済は激動の真っ只中にあり、その中でも東アジアの経済社会の潮流変化には目まぐるしいものがあります。地域経済の今後を考える為には、これらの動向を踏まえつつ、地域自らの主体的な取り組みが必要と考えます。国においては行政改革、財政再建、金融ビッグバン、地方分権など、様々な課題が国という枠組みの中で検討されていますが、地域はその解決をただ待つというのではなく、地域は地域で独自に取り組むべき多くの課題を抱えていると思います。私は地域経済の今後を考える為の三つの重要なキーワードにこだわりを持ちたいと考えます。それは経済社会のグローバル化、通信革命、そして高齢化少子化です。何れも21世紀に向けた持続的な地域発展の為には、欠かすことのできない情勢変化と考えます。

今回の研究集会では、1日目の「変貌するグローバル経済と地域の持続的発展」という共通テーマの下で、イギリスからお迎えしましたホール教授に基調講演を頂き、その後東アジアを視野に置いたパネル討論会を行います。このパネル討論会では5名の先生方を各国からお迎えして、経済のグローバル化という状況の下で、各国や各地域が直面する課題を論じて頂きます。これらの中で地域の今後を考える上で、示唆に富む提言を頂けるものと確信をしています。また2日目には中国四国地方を代表するシンクタンクより研究成果をご報告頂くことになっています。

プログラムの表紙をご覧頂くと、今年度の研究集会は例年の地域経済研究センターと地域経済研究推進協議会に加えまして、地方シンクタンク協議会中国四国ブロック並びに中国地域シンクタンク協議会、これら四者が主催致します。また広島県、広島市、中国経済連合会、広島商工会議所、広島経済同友会、中国新聞社からご後援を頂いています。ここに厚く御礼申し上げます。

最後に地域経済研究センターが1988年に設立されて早くも8年が経過致しました。全国の国立大学に併設されている研究機関は、何れも10年の時限に基づいており、その間に十分な実績を残した機関は改めて将来の展開が可能となります。本センターは初代の

樺本センター長の下で2つの旗頭を抱いています。それは地域の問題は地域で考える、そして産官学の連携です。現在大学においては10年目以降の将来構想を鋭意検討しています。今後とも皆様方のご支援ご協力を宜しくお願い申し上げます。簡単ではありますが以上で私の挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。

挨拶

地域経済研究推進協議会会長

中国経済連合会専務理事 林 憲 弘



開会に当たりまして一言ご挨拶を申し上げます。本日は多数各地よりご出席を賜りまして厚く御礼を申し上げます。さて、皆様ご承知の通り、地域経済推進協議会は平成元年5月に広島大学経済学部地域経済研究センターが新設されたのを契機にしまして、地域経済に関する研究活動を一層推進し、地域経済の活性化を図ることを目的として、翌年の平成2年3月に地元の産学官の方々にご参加頂きまして設立されました。この間、会員の皆様のご支援の下に、シンポジウム、研究集会、セミナー、研究会等、各種行事を広島大学経済学部附属地域経済研究センターとの共催で行ってまいりました。また、これらの行事の成果を報告書として刊行することによりまして、地域経済の活性化を図っているところです。同センターにおかれましては、諸活動を通じて地域経済の発展に大いに貢献をされて来られましたことに対して深く敬意を表するものです。

さて、今回の研究集会では、先程ご紹介のように「変貌するグローバル経済と地域の持続的発展」をテーマとして、本日と明日の2日間に渡って、特に国内外から地域経済に詳しい方々をお招きしまして、基調講演、パネル討論会、研究報告をさせて頂くように考えています。今後益々加速していく国際間の下で、当地域における課題を明らかにし、将来を展望する為に、誠に時宜を得たものと考えている次第です。本日はご案内のように、ロンドン大学バーレット校主任教授のピーター・ホール先生に、「交通・情報通信における大変革と都市複合体の発展」をテーマにしまして基調講演をして頂くことになっています。更に国内外の各地域からご参加頂いた5名の方々によりましてパネル討論を行って頂きます。国内からは広島大学大学院国際協力研究科長の山下彰一教授、京都大学経済研究所の藤田昌久教授、東洋大学国際地域学部の杜進教授、また国外からは韓国の釜山大学比較研究室長の林正徳教授、タイ国のクルンタイ・タナキット公社副社長で技術振興協会専務理事のプラユーン・シオワタナ先生にお越し頂きました。パネル討論の進行は広島大学地域経済研究センター長の戸田常一教授が務めます。ロンドン大学のピーター・ホール教授を初め、パネル討論の討論者の方々には、大変ご多忙のところを遠路はるばるお越しを頂いたわけですので、心から厚くお礼を申し上げたいと思いま

す。また明日は中国四国のシンクタンクにご出席頂きまして、午前午後に渡りまして合わせて7件の研究報告をして頂くことになっています。報告者は元より座長並びに討論者の方々には、諸事ご多忙の中をお越し頂きましてありがとうございます。今回の研究集会が地域の発展に寄与すると共に、ご出席の皆様方にとって意義あるものとなることを願っている次第です。

最後に先程戸田先生の方からお話がありましたが、当地域経済研究センターは来年で10年を迎えるわけです。引き続き私どもは地域の頭脳としてご指導頂きたいと考えている次第です。私ども中国経済連合会としましても、引き続き精一杯ご支援をさせて頂くつもりです。どうか本日ご出席の皆様方におかれましても、引き続きご支援ご協力を賜りますよう、この席を借りましてお願いを申し上げます。それではどうぞ最後までご静聴頂きますようお願いをしまして、簡単ではありますが私のご挨拶とさせていただきます。